

白バラよこはま

No.42

平成24年1月発行

編集・発行

横浜市明るい選挙推進協議会
横浜市中区港町1-1 ☎045(671)3335

旭区統一選 街頭啓発「サイコット」



栄区明るい選挙推進大会



磯子区「磯子まつり」月間オープニングイベントにて

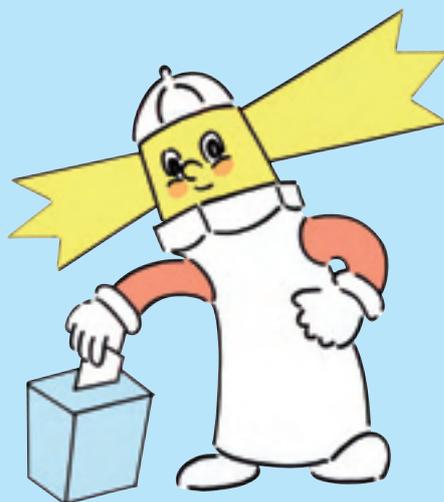


港南区「高校文化祭」におけるブース出展の様子

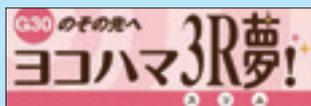


目次

推進委員・推進員の心得、三ない宣言	2
投票参加状況調査(抜粋)	3~4
各区今年度の事業から	5~22
横浜市今年度の事業から	23~25
リーダー研修会報告	25
統一地方選の区別投票率	26
各選挙における投票率	27
選管ホームページの紹介	28



横浜市の
選挙のマスコット
イコットちゃん



明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意見を確かに政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員のみなさんが活動をしていく上で注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するためにはじまったひとつの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とははっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

Q：某候補は、明るい選挙推進運動の趣旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

Q：投票日の午後になって、純粋な立場で「投票に行きましたか」と近所の家を回り、まだ行っていない人に投票に行くよう言っ歩いて歩きたいのですが。

A：選挙のとき、個人的に啓発活動を行うことは、現行法上種々の誤解を生む恐れがあります。明るい選挙推進協議会では選挙時に街頭啓発を実施していますので、推進員はそちらに参加しましょう。

- 町内会などの集会への飲食代や品物の差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ



- お中元やお歳暮などちょっとしたおみやげ



- 「贈らない」「求めない」「受けとらない」の三ない運動



政治家の寄附は禁止 有権者の寄附要求も禁止

政治家が選挙区内にあるものに対して、ここに紹介されたようなことをすると処罰されます。

- 秘書などが代理で出席するお葬式の香典や花輪



- 地域の運動会やスポーツ大会への差し入れ



- 出産、入学、卒業、就職などの祝い金や品物



- 開店祝いなどの花輪や祝い金

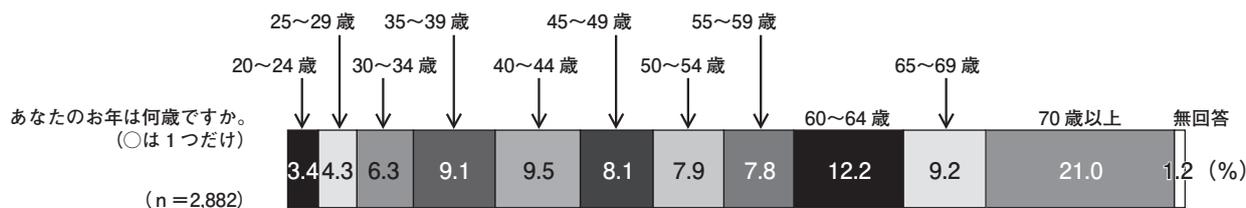
第14回投票参加状況調査から(抜粋)

(平成23年4月10日執行横浜市議会議員選挙)

● 調査対象者の属性

有効回答数2,882(以下回答者)の年齢分布は、20代が7.7%、30代が15.4%、40代が17.6%、50代が15.7%、60代が21.4%、70歳以上が21.0%です。横浜市居住期間は、5年未満が8.6%、5～10年未満が7.6%、10～20年未満が16.7%、20年以上が66.0%となっています。職業は、有職者が47.8%、学生が1.6%、家事専業が27.2%、その他の無職が17.8%です。職場・学校が横浜市内の人は54.9%となっています。徒歩での投票所までの時間は、5分以内が33.5%、10分以内が38.0%で、およそ71%の人が自宅から10分以内で行ける範囲に投票所があります。

調査対象者の属性

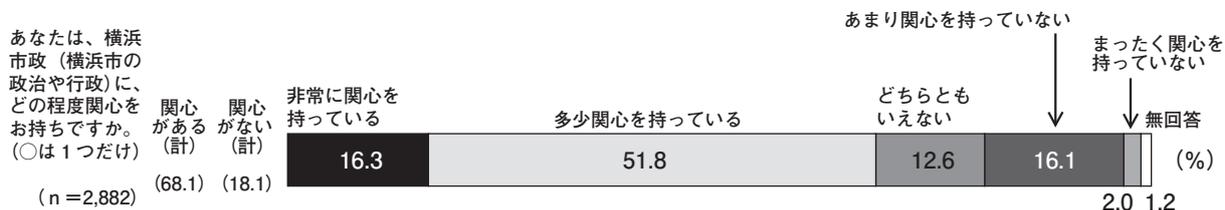


● 政治意識

ー 市政への「関心あり」はやや減少ー

市政について関心があるかどうかを聞きました。その結果、「非常に関心を持っている」「多少関心を持っている」と回答した人を合わせると、68.1% (H19統一地方選挙後調査72.8%)と前回調査よりやや減少し、逆に関心を持っていない人は18.1% (同15.2%)と増加しています。性・年齢別にみると、「関心あり」は女性よりも男性のほうがやや高く、男女とも年代が上がるほど高くなる傾向にあります。

市政への関心



ー「国政レベル」の関心が大きく増加 「市政レベル」は13.9%ー

政治上の問題などを「国政レベル」「県政レベル」「市政レベル」の3段階に分けた場合、最も関心を持っているのはどれかを聞いたところ、「国政レベル」が56.2% (H19調査44.9%)で最も多く、続いて「どれにも同じように関心がある」20.3% (同23.5%)、「市政レベル」13.9% (同22.4%)、「県政レベル」4.5% (同4.5%)、「どれにも関心がない」4.2% (同4.0%)となっています。前回調査に比べて「国政レベル」がおよそ11ポイント増加し、「市政レベル」がおよそ8ポイント減少しています。性別でみると「国政レベル」は男性(65.1%)が女性(49.8%)を大きく上回っており、逆に「市政レベル」や「どれにも同じように関心がある」では女性が男性を上回っています。

政治関心レベル



—支持政党は「ない」がやや増加—

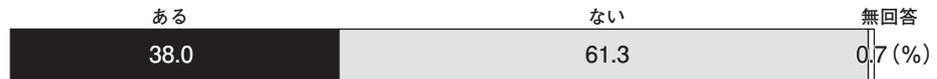
支持政党の有無について聞いた結果、支持政党が「ない」は61.3%（H19調査59.1%）で、支持政党が「ある」の38.0%（同39.8%）を上回っています。性・年齢別にみると、女性よりも男性に支持政党が「ある」と答えた人の割合が高く、男女とも年代が上がるほど高くなる傾向にあります。

支持政党

あなたは、現在支持する政党がありますか。

（○は1つだけ）

（n=2,882）



● 市議会議員選挙での投票行動

—投票の動機は、「投票することは国民の義務だから」46.0%が最多—

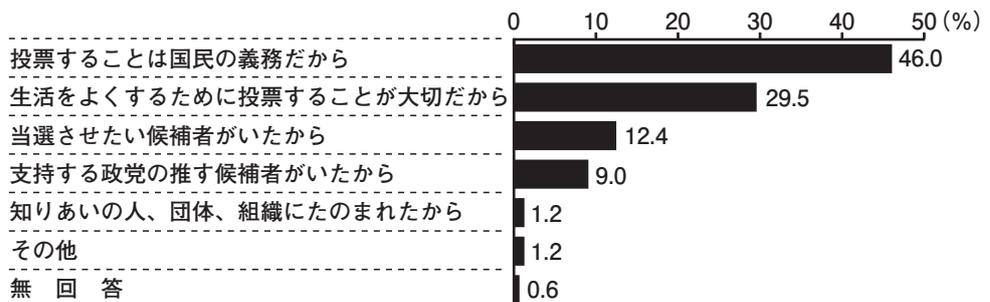
今回のアンケートで「投票した」と答えた人に、投票の動機について聞きました。その結果、「投票することは国民の義務だから」が46.0%（H19調査42.9%）で最も多く、次いで「生活をよくするために投票することが大切だから」29.5%（同30.0%）、「当選させたい候補者がいたから」12.4%（同14.8%）などとなっています。前回調査に比べて、「投票することは国民の義務だから」が増加し、「当選させたい候補者がいたから」は減少しています。

投票の動機

（「投票した」と答えた人にあなたが投票したのは、どのような考えからですか。

（○は1つだけ）

（n=2,081）



—棄権の理由は、「どの候補者がよいかわからなかったから」30.2%が最多—

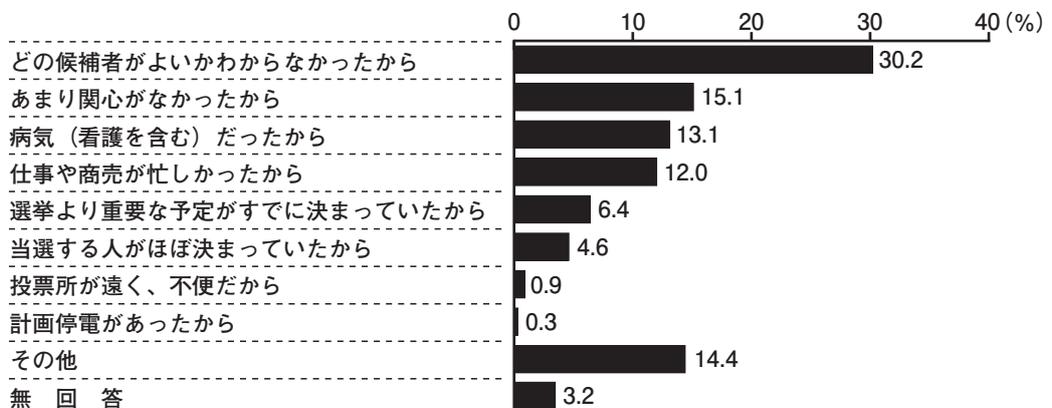
「投票しなかった」と答えた人が棄権の理由としてあげたのは、「どの候補者がよいかわからなかったから」が30.2%（H19調査23.8%）で最も多く、次いで「あまり関心がなかったから」15.1%（同17.2%）、「病気（看護を含む）だったから」13.1%（同15.8%）などの順となっています。性・年齢別にみると、「あまり関心がなかったから」は若年層で高く、「病気（看護を含む）だったから」は高齢層で高くなっています。

棄権の理由

（「投票しなかった」と答えた人にあなたが投票しなかった主な理由は何ですか。

（○は1つだけ）

（n=786）



※ 結果の表示

結果は百分率(%)で示し、図表・本文とも小数点第2位を四捨五入しました。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を表す数値が一致しないことがあります。

各区今年度の事業から

鶴見区

▼ つるみ臨海フェスティバル
～大盛況の似顔絵ブース～



▲ 推進員スキルアップ講座～白杖体験～

鶴見区明るい選挙推進協議会では、「投票率の向上」と「不正のないきれいな選挙の実現」を目指し、各種啓発活動に取り組んでいます。

今年度は、5月12日の推進委員総会で決定した事業計画に基づき、9月に推進員地区交流会を実施しました。地区交流会では、地区の推進員同士で今後の啓発活動に向けて活発に意見が交わされ、有意義な話し合いの場となりました。

10月には、鶴見区の区民祭りである「つるみ臨海フェスティバル」で、似顔絵ブースを出展しました。多くの親子連れで大盛況の中、選挙啓発文を似顔絵台紙に掲載し、また会場で啓発物品の配布を行い、啓発活動を実施しました。

11月には、推進員スキルアップ講座を開催しました。日本盲導犬協会神奈川訓練センターに依頼し、盲導犬ユーザーの話による視覚障がいへの理解、投票所での白杖体験を通して、推進員の意識啓発を図りました。

また2月には、将来の有権者である中学生を対象とした選挙の出前講座「せんきよフォーラム」の実施を予定しています。

その他、「鶴見川花火大会」及び「中学校生徒音楽会」のプログラムへ選挙啓発文を掲載、機関紙「イコットNEWS」の発行、区内の小中学校を対象とした「投票器材の貸出」など、様々な活動を行いました。今後も引き続き、積極的な啓発活動に取り組んでいきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年5月	推進委員総会	平成22年度の事業報告を行うとともに、平成23年度の事業計画を審議した。
8月	鶴見川花火大会	鶴見川花火大会に協賛し、プログラムに啓発文を掲載することにより、明るい選挙推進協議会のPRを行った。
9月	推進員地区交流会	各地区において、推進員同士の交流会を開催し、「協議会の活動の趣旨」の理解及び「地区の投票率を上げるにはどうすれば良いか」などを話し合うことにより、推進員としての意識の高揚、地区内推進員間のコミュニケーションの活性化を図った。
10月	つるみ臨海フェスティバル	「つるみ臨海フェスティバル」にブースを出展し、似顔絵コーナーを開催。似顔絵台紙に選挙の啓発文を掲載するとともに、会場内で啓発物品の配布を行い、明るい選挙推進協議会のPR及び選挙啓発を図った。
11月	推進員スキルアップ講座	推進員としてのさらなる意識の向上及び知識の習得を目的として、公益財団法人日本盲導犬協会神奈川訓練センターによる、講座を開催した。その後、今年度の事業の振り返りを行うとともに、推進員活動について意見交換を行った。
	中学校生徒音楽会	区内の中学生が参加する音楽会の会場にて、明るい選挙推進協議会のPRを行うとともに、選挙啓発文を掲載したプログラムを配布し、将来の有権者への動機づけを図った。

開催月	事業名	事業内容
平成24年2月	せんきよフォーラム	選挙啓発と学習機会の提供を目的として、区内中学校にて出前講座を開催する。模擬投開票を実施し、将来の有権者への動機づけを図る。
随時	イコットNEWS発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙結果の報告を中心に掲載、発行する。
	投票器材の貸出	区内の小・中学校に投票器材を貸出し、将来の有権者への動機づけを図る。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発「ザ・イコット」	地区ごとに推進員が街頭啓発の計画を立て、その計画を基に駅前やスーパーの前、商店街など延べ27箇所、地域に密着した街頭啓発活動を実施。合計258人の明るい選挙推進協議会関係者が参加した。

神奈川区

神奈川区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加の促進を目指して啓発活動を行っています。

今年度の常時啓発は、若年層に向けた啓発事業と、区民に向けた啓発活動を柱に活動を行っています。

まず、若年層に向けた啓発事業として、10月に神奈川工業高校と神奈川大学の文化祭に参加し、来場者の皆様に模擬投票、啓発パネル等の展示、啓発物品の配布等を実施しました。11月には神奈川中学校で開催された職業体験授業への参加、菅田中学校でのせんきよフォーラム(第1回)を実施しました。職業体験授業では、参加者に対し模擬投票と開票事務体験授業を行いました。せんきよフォーラムでは、元国際選挙監視要員を講師としてお招きし、「紛争から戦争へ ～アフガニスタンと東ティモールからの便り～」をテーマに講演会を行いました。また、区内小中学校を対象に生徒会選挙の手引きを送付するとともに、選挙器材の貸出も実施しています。

次に区民に向けた啓発活動として、6月に横浜FCかながわ区民DAYへ参加し、選挙マスコット「イコットちゃん」の着ぐるみを用いて、来場者に対して選挙とマスコットのPRを実施しました。10月には区民まつりへ参加し、来場者へ似顔絵の贈呈、パネルの展示、啓発物品の配布等を実施しました。

平成24年1月には、松本中学校でのせんきよフォーラム(第2回)も開催予定です。

今後も明るくきれいな選挙の実現のため、各種活動に積極的に取り組んでいきます。



▲ 神奈川区せんきよフォーラムの様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年6月	横浜FCかながわ区民DAYへの参加	選挙マスコット「イコットちゃん」の着ぐるみを用いて、来場者に対して選挙とマスコットのPRを行った。
10月	区民まつりへの参加	参加者へ似顔絵の贈呈、パネルの展示、啓発物品の配布を行った。
	高等学校の文化祭に参加	模擬投票、啓発パネル等の展示、啓発物品の配布を行った。
	神奈川大学の学園祭に参加	模擬投票、啓発パネル等の展示、啓発用掲示物の展示、啓発物品の配布、啓発用DVDの放映、アンケートの配布、選挙マスコットによる来場者呼び込み、啓発冊子の配布等を行った。
11月	神奈川中学開催「職業体験授業」参加	模擬投票と開票事務体験授業を行った。
	せんきよフォーラム	元国際選挙監視要員を講師としてお招きし、「紛争から戦争へ ～アフガニスタンと東ティモールからの便り～」をテーマに講演会を実施する。
6～12月	投票器材の貸出し	区内小中高等学校に、生徒会選挙の手引きを送付した(6月)。中学校等の生徒会等の選挙用に選挙器材を貸出した(利用時期：9月～12月、利用校：中学校7校、高等学校1校)。小学校向けに、学級委員選挙の手引きを送付した(6月)。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	区内各種イベント事業への参加	統一地方選挙に向け、若年層が集まる区内各種イベントに参加し、区民の投票参加意識の向上を図った(3月)。

▼ 神奈川区民まつりの様子



▲ 神奈川中学校職業体験授業の様子

西 区

西区では、明るくきれいな選挙の実現と、より一層の投票参加を推進するために、各種啓発活動を実施しています。

11月6日の「西区民まつり」では、ステージイベント「着ぐるみ大集合！」にイコットJrが出演し、投票の大切さを訴えました。この他、実際の選挙で使用する投票箱や記載台を用いた選挙クイズ大会を実施し、来場者に楽しみながら選挙について学んでいただきました。

また、同月29日には「明るい選挙推進大会」を開催しました。今回は落語家の林家うん平師匠をお招きして「明るい一票、うれしい未来」というテーマで御講演いただきました。随所に笑いを入れながら、御自身のエピソードなどを巧みに盛り込んだ、大変分かりやすい丁寧なお話で、推進委員と推進員の明るい選挙推進の意識高揚につながりました。

若年層向けの啓発活動としては、未来の有権者の選挙に対する関心を高めるため、年間を通して区内中学校へ投票器材の貸出しを行っています。また、2月には区内中学校において「せんきょフォーラム」を開催し、近い将来有権者となる中学生に、政治への関心を高めてもらうため、選挙の出前授業と模擬選挙を実施する予定です。

今後は、新たな啓発物品として、啓発標語入りのメモ帳を作成し、きれいな選挙を呼びかけます。



▲ 西区民まつり



▲ メモ帳表紙

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年7月	定例会	前年度の事業実績、決算の報告、及び当該年度の事業計画案、予算案の審議を行った。
11月	西区民まつり	選挙マスコットであるイコットJr.との記念撮影や、せんきょクイズを実施して、選挙のPRをした。
	西区明るい選挙推進大会	推進委員・推進員の意識高揚並びに連帯を深めるため開催する。また、講演会を行い、選挙等への参加意識の向上を図った。
平成24年2月	西区せんきょフォーラム	将来有権者となる中学生に、模擬選挙を通じて、一人の有権者として選挙の意義を認識し、投票に対する意識を高めてもらうことをねらいとして開催する。
通年	明るくきれいな選挙の普及事業	標語入りの啓発物品を作成し、各イベント時に配布する。
	学校の生徒会選挙等での実践啓発	区内の中学校生徒会選挙に際して、投票器材を貸出す。
	機関紙「明推協だより」の発行	推進委員・推進員への情報提供を目的とした機関紙を発行する。

▼ イベント「着ぐるみ大集合！」



▲ 林家うん平師匠による講演

中 区

中区明るい選挙推進協議会は、平成23年中に別表のとおり啓発事業を展開しました。

「tvk秋じゃないけど収穫祭」や、中区民祭り「ハローよこはま2011」といった大規模なイベントに参加し、多くの方に選挙について考えてもらう、触れてもらう機会を設けることが出来ました。

また、将来の有権者である小中学生を対象に、今年度で31回目を迎える「中区明るい選挙推進作文コンクール」を実施し、12月には中区役所で表彰式を開催しました。

この他、中学生を対象とした「中区せんきよフォーラム」や高校文化祭への参加、推進員への明推協通信「イコットくんニュース」の発行など、様々な常時啓発事業を推進しました。

今後も、幅広い世代の選挙参加を念頭に置きながら、特に若年層への働きかけを重視した啓発事業の実施を目指します。

▼ tvk 秋じゃないけど収穫祭



▲ せんきよフォーラム

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年 6月	tvk 秋じゃないけど収穫祭	6月4日に日本大通りで開催された「tvk 秋じゃないけど収穫祭」イベントで、「マスコット人気投票in収穫祭」と題し、模擬投票による選挙啓発活動を実施しました。模擬投票は選挙や中区に関するマスコットの人気投票を行い、約1,100人の方に投票していただきました。
9月、11月	中区せんきよフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に、より対象に近い世代である横浜市選挙啓発学生団体イコットプロジェクトを講師として招き、生徒会選挙の機会を利用して「選ぶことの大切さ」をテーマとした講演会を開催しました。 【横浜市立本牧中学校】 開催日：9月28日 参加人数：約500人 【横浜市立吉田中学校】 開催日：11月10日 参加人数：約220人
10月	高校文化祭への参加	10月8日に開催された横浜市立みなと総合高等学校の文化祭にブースを出し、模擬投票による選挙啓発活動を実施しました。ブースでは模擬投票を行うとともに、明るい選挙のイメージキャラクター「選挙のめいすいくん」と記念撮影をし、写真をその場でプレゼントしました。

開催月	事業名	事業内容
10月	中区民祭り (ハローよこはま)	10月9日に横浜公園・日本大通りで開催された第36回中区民祭り「ハローよこはま2011」イベントで「めいすいくんからの挑戦状 ～わかるかな？せんきよクイズ～」と題し、模擬投票による選挙啓発活動を実施しました。模擬投票は選挙に関する○×クイズを行い、約1,000人の方に投票していただきました。
通年	中区明るい選挙 推進作文 コンクール	区内在住・在学の小中学生を対象に、選挙等をテーマとした作文コンクールを実施しました。12月には入賞者に対し、中区役所にて表彰式を行いました。 応募総数：302作品
年間	明推協通信 「イコットくん ニュース」発行	推進員への情報提供及び推進員の選挙啓発意識向上を目的とした機関紙を年間3回発行しています。
年間	投票器材貸出	区内の企業・学校等へ実際の選挙で使用している投票器材等の貸出しを行っています。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発 「ザ・イコット」	4月10日執行の統一地方選挙の選挙時啓発として、4月3日に伊勢佐木地区と本牧地区で、投票の呼びかけと啓発用ティッシュの配布を行いました。当日は、選挙管理委員、推進委員及び推進員約70名が参加しました。

南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、啓発活動を行っています。

例えば毎年、7月には、南区の夏の風物詩である「南まつり」において、選挙ブースを出展し、選挙クイズを実施しています。8月には、親子映画会を開催し、若い有権者と将来の有権者に選挙啓発活動を行っています。両方とも、多くの推進員にご協力をいただきました。

また、「南区文化祭」、「ボイス・オブ・ユース(青年の主張)」などに協賛して、パンフレットやポスターなどに啓発標語などを掲載し、小学生から有権者の方まで幅広く呼びかけを行っています。

さらに、中学校の生徒会選挙が実施される際に、選挙器材の貸し出しを行い、実際に行われる選挙に近い生徒会選挙を中学生に体験してもらいました。

12月には、南区明るい選挙推進協議会のマスコットキャラクターの「まねっきー」と啓発標語が掲載されたポケットカレンダーを作成、配布しています。今年度は、推進員、一般区民から募集した標語を使用しました。

3月には南区明るい選挙推進大会を実施する予定です。南区明るい選挙推進大会では、推進員の皆さんが一同に集い、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現へむけた啓発活動を展開することを確認する契機としています。

また、同じく3月に実施するせんきょフォーラムでは、高校生、中学生、推進員、一般区民の方を対象に啓発講演会を行う予定です。

▼ 映画会後のアンケート投函の様子



▲ 横浜橋通商店街での選挙時啓発

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年 6月、10月、 3月	明推協だより	明推協の事業内容や活動報告を機関誌にまとめ、推進委員及び推進員に年3回発行。
7月	南まつり	選挙ブースを出展、啓発パネルから答を導く選挙クイズを実施し、正解者に啓発物品を贈呈。
8月	明るい選挙映画会	若年層を対象とした啓発を目的に、親子映画会を開催、今年度は、人気アニメ映画「ヒックとドラゴン」と「選挙啓発アニメDVD」を上映。アンケートの記入、投函に実際の選挙器材を使用。
10月、11月	南区文化祭、ボイス・オブ・ユース	南区恒例の文化行事に協賛し、配布物に啓発標語などを掲載。
12月	“まねっきー”クリーン選挙PR事業	当協議会のマスコット“まねっきー”と公募による啓発標語入りのポケットカレンダーを作成し、広く区民にきれいな選挙と積極的な投票参加を呼びかける。
平成24年 3月	明るい選挙推進大会	明るい選挙の実現のため、推進委員・推進員が一堂に会し、大会および研修を実施。
3月	せんきょフォーラム	高校生、中学生、推進員、一般区民の方を対象として、講演会を実施。
3月	桜まつり	周知用チラシやポスターなどに啓発標語等を掲載し、協議会の名前と公募による啓発標語が入った“ぼんぼり”を会場の大岡川沿いなどに掲げる。

開催月	事業名	事業内容
年間	選挙器材貸出	未来の有権者の選挙への関心を高めるため、生徒会選挙等へ選挙器材を貸し出している。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発「ザ・イコット」	商店街において、買い物客や通行人に啓発用ポケットティッシュを配布し、選挙の周知と投票参加を呼びかけました。 場 所：弘明寺商店街および横浜橋通商店街 参加者：約90名



▲ 南まつり選挙クイズの様子

港南区

港南区明るい選挙推進協議会は今年度、推進員の改選の年を迎え、活動に積極的に参画できる推進員に「明るい選挙推進大会」の席上で委嘱を行いました。

また、「推進員研修会」や「施設見学会」を通し、推進員相互の連携や意識向上などスキルアップを図ることができました。

今年度実施した啓発事業として、平成19年度から毎年出展している「高校文化祭」では、実物の選挙器材を用いた選挙クイズが好評を博し、その様子が(財)明推協から発行されている、全国版の情報誌「Voters」に掲載されました。

毎年秋口に開催している、全区事業のひとつ「こうなん子どもゆめワールド」では、子ども向けの選挙啓発パネルを見てクイズに答えるブースを出展し、親子連れを中心に列をなすなど幅広い年代の区民に啓発することができました。

さらには、昨年度から小学6年生を対象に実施している「せんきよフォーラム(デザート選挙)」では、小学校生活最後の給食のデザートを決める模擬投票を体験し、選挙を楽しみながら分かりやすく学習できる出前授業を行っています。学校からは、生きた教材として児童にとっても良い勉強になったとお声をいただきました。

今後も港南区明るい選挙推進協議会の推進委員・推進員の皆様との連携を図り、啓発事業のより良いあり方や明推協の今後の課題を考えながら、活動してまいります。

▼ 高校文化祭におけるブース出展の様子



▼ 子どもゆめワールドでのクイズ投票の様子



▲ 明るい選挙推進大会における委嘱式の様子



▲ 推進員研修会の様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年6月	港南区明るい選挙推進協議会委員会 港南区明るい選挙推進大会・防災講演会	規約の一部改正・平成22年度事業報告及び決算報告、監査報告・平成23年度事業計画及び予算の審議を行った。 第1部は推進委員・推進員を対象に明るい選挙推進大会(推進員委嘱式・決議文採択)、第2部から一般区民を含めて防災講演会を開催した。 場所：港南公会堂 講演テーマ：「地域防災を考える」 講師：風間 久司氏 (NPO法人防災サポートおぢや)
9月	高校文化祭における選挙啓発ブースの出展	将来の有権者となる高校生に選挙や政治に関する関心を高めてもらうため、区内の高校文化祭に選挙啓発ブースの出展を行った。 実施高校：神奈川県立横浜南陵高等学校 神奈川県立永谷高等学校
10月	港南区明るい選挙推進協議会推進員研修会	推進員の意識高揚とスキルアップを図るため、港南区として初の研修会を実施した。 場所：港南区役所2号会議室 内容：被災地への選挙応援業務の報告・明推協活動について
11月	こうなん子どもゆめワールドにおける選挙啓発ブースの出展	投票参加ときれいな選挙の呼びかけを実施するため、多くの区民が参加する「こうなん子どもゆめワールド」で選挙啓発ブースの出展を行った。 場所：港南ふれあい公園
12月	施設見学会	推進員の政治や選挙に対する関心を高めるとともに、推進員同士の連携を図るため、見学会を実施した。 見学会先：横浜市会議事堂 日本新聞博物館

開催月	事業名	事業内容
平成24年1月・2月	せんきよフォーラム(デザート選挙)	小学6年生を対象に、投票結果が実感でき、投票の大切さについて分かりやすく体験してもらえる、模擬投票を実施した。 実施小学校：横浜市立港南台第二小学校 実施予定小学校：横浜市立永野小学校 横浜市立相武山小学校
通年	明推協だよりの発行	推進委員及び推進員への情報提供を目的に、機関紙「こうなん明推協だよりの年間3回程度発行している。
	啓発物品の作製	選挙参加を呼び掛ける啓発物品を作製し、各種イベント等で配布している。
	選挙器材貸出	区内各学校へ生徒会選挙用に選挙器材の貸出を実施している。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	啓発物品設置による選挙啓発	幅広い年齢層が利用する区内の地区センター・コミュニティハウス・ケアプラザなどに啓発物品のポケットティッシュを設置し、投票を呼びかける選挙啓発を行った。
	電光掲示板による選挙啓発	戸籍課の電光掲示板及び庁舎内自動販売機の電光掲示板を利用して、期日前投票と投票日の周知を行った。
	公用車による選挙啓発	公用車に、投票日を周知するシールを貼り、あわせて選挙啓発テープを走行中に放送して、広く有権者に呼びかけを行った。
	回覧板による選挙啓発	より多くの有権者に選挙啓発を行うために、自治会町内会等で使用される回覧板を選挙啓発用に加工して作製し、選挙啓発を行った。

保土ヶ谷区

こんにちは！世界をつなぐ横浜の港の西に見える町々でおなじみの、保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会は、『不正のない明るい選挙の実現』と『投票参加の向上』を目指し、啓発活動を行っております。

今年度の常時啓発事業は、7月に、ニッパツ三ツ沢球技場で行われた横浜FC保土ヶ谷区民DAYでの啓発活動が皮切りとなりました。

10月、区内2つの生徒会役員選挙の選挙管理委員を対象に出前授業を行いました。また、ほ도가や区民まつりでは野外特設ステージでロック音楽とお選挙をネタにお笑いライブを行いました。

11月、横浜国大11常盤祭でブース出展とステージイベントをし、主に20代から30代の家族連れや大学生に向け、啓発活動を行いました。また、「ほ도가やバンドバトル」を保土ヶ谷公会堂で、青少年指導員協議会と共催しました。中学校及び高校からバンドを募り、本物の投票箱を使って順位を決める投票を行いました。

12月、明るい選挙推進大会・講演会を保土ヶ谷公会堂で開催しました。講演会では朝日新聞社編集委員である峰久和哲氏に選挙報道の舞台裏や現在の政治状況をお話していただきました。また、12月から1月にかけて「デザート選挙で小学校生活最後の給食に思い出を！」をテーマに、区内4つの小学校の6年生を対象に選挙を面白くわかりやすい形で体験してもらいました。

▼「横浜国大11常盤祭」のブース出展



▲「区民まつり」左：オクター部、右：LIKA ▲デザート選挙(瀬戸ヶ谷小学校)

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年7月	横浜FC保土ヶ谷区民DAY	サッカー観戦者を対象に選挙クイズ付ティッシュ、イコットJr.ストラップの配布を行いました。会場にはイコットJr.も登場し、盛り上げました。
10月	生徒会役員選挙出前授業	生徒会役員選挙に向けて、各学校の選挙管理委員会の生徒を対象に、実際の開票の様子のビデオを見もらうなどの出前授業を行いました。自然に開く実際の投票用紙を配布したり、計数機を使ってゲームをし、選挙に対する関心を高めてもらいました。
	ほ도가や区民まつり	県立保土ヶ谷公園の野外特設ステージにて、保土ヶ谷生まれの女子高生ロッカー「LIKA」に選挙の大切さについて語ってもらいました。また、若手お笑い芸人「オクター部」による選挙ネタのお笑いライブを行いました。
11月	横浜国大11常盤祭	ブース出展とステージ出演をしました。ブース展示では、東日本大震災のパネル展とゲームを行い、ステージでは、保土ヶ谷生まれの女子高生ロッカー「LIKA」に歌と共に、選挙に対する自分の思い、投票の必要性を訴えてもらいました。
	ほ도가やバンドバトル	青少年指導員協議会と共催し、中学校及び高校の18グループのバンドで演奏を競いました。また、当日はイコットJr.の着ぐるみが登場したり、演奏の合間に選挙クイズを行いました。優勝者を決める際は実際の投票箱、投票用紙を使うなどし、投票・開票を実体験してもらいました。

開催月	事業名	事業内容
12月	保土ヶ谷区明るい選挙推進大会・講演会	明るい選挙推進に向けて、推進委員・推進員の意識高揚をはかりつつ、連携を深めました。
12月～平成24年1月	デザート選挙	小学6年生を対象にいくつかのデザートの候補から、自分が食べたいものを投票してもらい、1番票が多かったものを、小学校最後の給食のデザートとして出します。投票には実際の投票箱・投票用紙を使います。
通年	選挙器材の貸し出し	区内中学校等に選挙器材の貸し出しを行い選挙に親しみをもってもらいます。
年3回	明推協だより	推進委員・推進員の機関紙を発行します。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発「ザ・イコット」	区内各駅頭で乗降客、買い物客等に啓発ティッシュを配布しながら、投票参加を呼びかけました。 日時：平成23年3月29日(火) 場所：保土ヶ谷駅、天王町駅、和田町駅、西谷駅

旭区

旭区明るい選挙推進協議会では、今年度も「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発事業を実施しています。

今年度は6月に推進委員及び推進員の改選がありました。7月に開催された「旭区明るい選挙推進協議会 推進員委嘱式・研修会」では、215名の推進員に委嘱状を授与し、「選挙啓発のあり方」や「明るい選挙推進運動の歴史」について学び、推進員としての意識向上を図りました。

毎年恒例となっている竹製うちわを今年度も作製し、区内で開催された「道の日キャンペーン」で配布したほか、推進員さんを通して各地域の夏祭りやイベント会場での啓発活動に役立たせていただきました。

10月には「旭ふれあい区民まつり」に参加し、選挙啓発コーナーを設けました。選挙クイズラリーには多くの来場者に参加していただきました。

12月には「旭せんきょフォーラム」を実施し、未来の有権者である小学生を対象とした模擬投票・開票を行いました。これから2月にかけて、計9校で実施する予定です。選挙時啓発としては、4月に執行された統一地方選挙時に、区内相鉄線2駅周辺において「ザ・イコット」を実施し、ポケットティッシュを配布しながら投票参加を呼びかけました。

「企画検討委員会」では、啓発事業について企画・検討し、イベントでは企画検討委員の方が中心となって運営しています。

他にも、中学校の生徒会選挙時に投票機材や選挙運動物品の貸出事業を行っており、今後も明るくきれいな選挙の実現を目指して活動していきます。



▲ 旭せんきょフォーラム・デザート選挙(上白根小)



▲ 旭区明るい選挙推進協議会 推進員委嘱式・研修会



▲ 統一選挙街頭啓発「ザ・イコット」



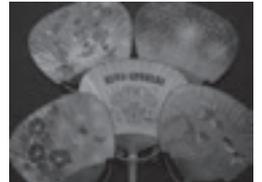
▲ 道の日キャンペーンでの啓発活動

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年6月	旭区明るい選挙推進協議会定例会議	平成22年度の事業報告・決算報告及び平成23年度の事業計画・予算案について審議を行った。 ・日時 平成23年6月7日(火) 午後2時から ・場所 旭公会堂1・2号会議室
6月～7月	竹製うちわ作製・配布	明るい選挙マスコットキャラクターを掲載した竹製うちわを作製。道の日キャンペーンや、各自治会・町内会等にも配布し、明るい選挙を呼びかけた。
7月	旭区明るい選挙推進協議会 推進員委嘱式・研修会	推進員の改選期にあたることから推進員委嘱式を開催した。同時に研修会を開催し、当協議会について理解を深め、推進員としての意識向上を図った。 ・日時 平成23年7月5日(火) 午前10時30分から ・場所 旭公会堂 ・講師 神原 隆司氏 (市選管事務局啓発係長) ・参加者 約120名
8月	道の日キャンペーン	旭土木事務所主催のキャンペーンに推進員が中心となって参加し、竹製うちわやオリジナルボールペン等を配布しながら啓発活動を行った。 ・日時 平成23年8月10日(水) 午後2時から午後3時30分 ・場所 相鉄線二俣川駅前第二歩道橋
10月	旭ふれあい区民まつり	区民まつりにブースを設け、クイズラリーや選挙パネル・器材の展示を実施し、明るい選挙を呼びかけた。 ・日時 平成23年10月16日(日) 午前10時から午後3時 ・場所 旭区役所第一駐車場

開催月	事業名	事業内容
12月～平成24年2月	旭せんきょフォーラム	未来の有権者である小学生を対象に、身近な話題をテーマにした模擬投票・開票を行い、選挙に対する理解・関心を深める。 今年度は9校実施予定。(1校は実施済み)
年間	企画検討委員会(年3回)	明推協事業の実施について、運営方法や新たな啓発活動について企画・検討し、各種イベントにおいては中心となって運営を行う。
	生徒会選挙物品及び投票器材の貸出	区内の中学校の生徒会選挙時に、選挙運動用のぼり旗・たすき・腕章等の選挙物品及び投票箱・記載台の貸出を行った。
	イコット通信の発行(年3～4回)	推進委員・推進員への情報提供・交流の場を目的とした機関紙「あさひイコット通信」を発行。

大好評！竹製うちわ ▶



●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発「ザ・イコット」	各地区の推進員及び選挙管理委員が、ポケットティッシュ等の啓発物品を配布しながら投票参加を呼びかけた。 ・日時 平成23年3月24日(木) ・場所 相鉄線2駅 (鶴ヶ峰駅、二俣川駅) ・参加者 約30名

磯子区



▲ 標語募集事業作品展示の様子

磯子区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票率の向上を目指し、各種啓発事業を実施しています。

常時啓発では、若年層に向けた啓発事業として、将来の有権者である小・中・高校生を対象に「磯子区を元気にする標語・選挙標語募集事業」を実施し、11月20日から27日まで全応募作品(532点)を磯子区総合庁舎1階区民ホールで展示しました。現在、受賞作品の表彰及び作品を活用した啓発物品の作製を進めています。

9月25日には、磯子まつりオープニングイベントにおいて、選挙クイズコーナーを設け、クイズや市選挙キャラクターイコットちゃんとの記念写真撮影を通じて、選挙への関心向上と、明るい選挙の推進を呼びかけました。

このほか、本年2月には、若年層の投票率向上を図るため、未来の有権者である区内の中学生を対象に「せんきょフォーラム」を開催する予定です。

選挙時啓発では、平成23年4月10日投票の第17回統一地方選挙・同年12月18日投票の横浜市議会議員磯子区選挙区補欠選挙では、区内JR4駅(根岸駅・磯子駅・新杉田駅・洋光台駅)において、それぞれ投票参加を呼びかける街頭啓発「ザ・イコット」を実施しました。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年 7月～2月	磯子区を元気にする標語・選挙標語募集事業	未来の有権者である小・中・高校生を対象に「磯子区を元気にする標語・選挙標語」を募集。標語を考えるなかで、選挙に興味・関心をもってもらおう。全応募作品532点を磯子区総合庁舎1階区民ホールにて展示した。受賞作品を選定し表彰を行うほか、作品を活用して啓発物品を作製する。
9月	磯子まつりオープニングイベント	磯子まつりオープニングイベントに参加し、選挙クイズコーナーを設置。選挙に関するクイズへの参加者(100名以上)に、市選挙キャラクターイコットちゃんとの記念写真撮影をもらったほか、啓発物品の配布を行い、明るい選挙実現の呼びかけを行なった。 ・会場 磯子区総合庁舎
平成24年 3月	せんきょフォーラム	若年層の投票率向上を図るため、模擬投票などを実施し、未来の有権者である区内の中学生を対象に開催。 ・会場 浜中学校
通年	生徒会選挙支援事業	区内の学校で行われる生徒会選挙に際し、候補者用たすき、選挙管理委員会腕章などの選挙運動用物品や投票箱、記載台などの投票器材の貸出しを行う。(平成23年末時点 7校)
	明推協だよりの発行	推進委員・推進員の機関紙「明推協だよりの発行」を発行。 年3回発行(予定)

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発「ザ・イコット」	区内JR4駅(根岸駅・磯子駅・新杉田駅・洋光台駅)において、それぞれ投票参加を呼びかける街頭啓発を、計62名の推進員により実施しました。
市議補選(磯子区)	街頭啓発「ザ・イコット」	区内JR4駅(根岸駅・磯子駅・新杉田駅・洋光台駅)において、それぞれ投票参加を呼びかける街頭啓発を、計48名の推進員により実施しました。

▼ 磯子まつり月間オープニングイベントにて



▲ 市議磯子区補選 街頭啓発

金沢区

金沢区明るい選挙推進協議会では、メインテーマとして掲げている「若い世代に選挙について関心を持っていただくためには」に沿って、様々な啓発事業を企画・実施しています。

まず、10月初旬には、主に小学生の親子を対象にした「親子映画会」を開催し、実際の選挙に使用する記載台や投票箱を用いてアンケートを行い、選挙について親子で考えるきっかけを作りました。

10月中旬以降には、多くの方でにぎわう「区民まつり（いきいきフェスタ）」や「横浜市立大学」「関東学院大学」の学園祭に出展し、若い世代に向けて積極的な啓発を行いました。ここでは、パネル展示、選挙クイズ及びミニゲームを通して、来場者に楽しみながら選挙について学んでいただきました。

このほか通年で各学校への「選挙機材の貸出し」、六浦中学校において「せんきょフォーラム」を開催するなど、さらなる若年層の政治・選挙に対する意識向上を図っています。

また、4月に執行された統一地方選挙では、東日本大震災による自粛ムードの中でも特に投票参加が必要と考え、少数精鋭で街頭啓発を実施し、高い投票率に貢献することができました。

これからも金沢区明るい選挙推進協議会は更なる事業内容の充実と積極的な啓発活動を実施いたします。

▼ 横浜市立大学学園祭の様子



▲ 親子映画会の様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年5月	企画検討会	事業活性化と推進員の運営参画の場として開催し、事務局と協議会推進員との間で平成22年度事業の振り返り、平成23年度事業の企画検討を行いました。
6月	定例会	規約の一部改正と平成22年度事業結果及び決算の報告、平成23年度事業計画及び予算案について審議を行いました。
10月	明るい選挙親子映画会	若年有権者の選挙意識向上を図るため、「トイ・ストーリー3」を上映し、同時に啓発ビデオの上映、啓発物品及びチラシの配布を行いました。 場所：金沢公会堂
	区民まつり（いきいきフェスタ）出展	区民の選挙意識向上を図るため、啓発物品の配布や選挙クイズを行いました。
	関東学院大学学園祭パネル展示	大学生に明推協活動を周知し、投票参加を呼びかけるため、パネル展示と啓発物品の配布を行いました。
	横浜市立大学学園祭ブース出展	大学生に選挙の重要性や投票参加を呼びかけるため、選挙クイズ、ゲーム、パネル展示及び啓発物品の配布を行いました。
11月	せんきょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に講演会を開催しました。 場所：横浜市立六浦中学校 講師：笑学塾（劇団）
平成24年1月	明るい選挙クイズ	区民の選挙に対する関心を高めるため、「広報よこはま」金沢区版に選挙に関するクイズを掲載し、正解者に抽選で記念品を贈呈します。

開催月	事業名	事業内容
2月	明るい選挙推進研修会	当協議会推進員の政治意識向上のため、講演会及び討論会を開催します。 場所：金沢区役所内会議室
年間	明推協にゆうす発行	事業に関する情報提供や意識向上のため推進委員・推進員に機関紙を発行します。 （年4回：6月、8月、1月、3月） ・事業計画及び結果報告 ・各種事業案内 ・選挙結果報告 等
	選挙器材貸出し	学生の選挙への関心を高めるため、区内学校で行われる生徒会役員選挙等に実際の選挙器材を貸出します。
	横浜バイサイドマリーナへの啓発物品設置	青年有権者層が集まるバイサイドマリーナに選挙参加を呼びかけるため、啓発物品（選挙マスコット「いこあら」入りウェットティッシュ）を設置しています。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発「ザ・イコット」	推進委員・推進員及び事務局が啓発物品を配布しながら投票日の周知と投票参加の呼びかけを行いました。 実施日：平成23年3月25日（金） 場所：京急電鉄「金沢文庫」駅構内及び駅周辺 参加者：17名

港北区

港北区明るい選挙推進協議会(明推協)では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加の意識向上を目指して、将来の有権者である若年層も含めた区民への啓発活動を行っています。

10月には、例年どおり「港北ふれあいまつり」においてブース出店(わなげ)を行い、あわせて選挙に関するアンケートを実施しました。12月には、「親子映画会」を開催し、たくさんの方の親子連れに向けて啓発活動を行いました。映画の上映前には子供を対象にした選挙クイズを実施し、実際に選挙で使用する記載台で投票用紙に解答して、投票箱に入れていただく等、多くの来場者に選挙の雰囲気を感じていただきました。

また、若年層に向けた啓発活動として実施している「せんきよフォーラム」では、例年の区内中学校への出前授業を行うとともに、区内小学校で模擬投票を実施しました。

2月には、「明るい選挙推進大会」を開催し、推進員同士がきれいな選挙と投票総参加の実現を目指した推進運動を展開することを確認し合います。また、大会での記念講演会では、選挙の歴史について講師の方に講演していただきます。

この他にも、港北区明るい選挙推進協議会では、地域の運動会に出向いて選挙マスコットのPRを行ったり、学校との連携事業として投票器材の貸出しを行っています。

今後も協議会の推進委員、推進員との連携を図り、より良い啓発活動になるよう取り組んでいきます。

▼ 映画会



▲ 港北ふれあいまつり



▲ 地区ブロック別研修(高田地区)

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年5月	港北区明るい選挙推進協議会及び地区代表会議	平成22年度の事業報告及び平成23年度の事業計画の審議を行いました。地区代表会議では、ふれあいまつり、地区ブロック別研修、明るい選挙親子映画会などの明推協事業内容について検討を行いました。
7月	港北サンクスマッチにおけるマスコットPR	横浜F・マリノスの試合「港北サンクスマッチ」において、選挙マスコットのPRを行いました。試合前のトリコロールランドでは、選挙マスコットのイコットちゃん、めいすいくんが子供たちと触れ合い、選挙を身近に感じてもらいました。 場所：日産スタジアム
9月	地区ブロック別研修	政治・選挙や各地区における啓発活動等について、自由闊達な意見交換を行い、推進員としての自覚を高め、各地区明推協の活性化を図りました。
10月	港北ふれあいまつり	選挙のアンケートに回答することで参加できる、わなげのブースを出店しました。アンケートに選挙に関する知識を掲載し、来場者に選挙啓発を行いました。 場所：新横浜駅前広場
12月	港北区明るい選挙親子映画会	子供に人気の映画を上映し、子供とその家族への選挙啓発と明推協のPRを行いました。 上映作品：「塔の上のラプンゼル」 会場：港北公会堂
	せんきよフォーラム	外部講師に講演していただく出前授業形態のフォーラム事業を実施しました。講師を招き、「若者のための選挙と歴史」という演題で、選挙権獲得までの歴史の流れや、現在の若者の投票率の低さについて講演を行いました。 場所：日吉台中学校 対象：1・2年生 講師：金谷 俊一郎氏 (歴史コメンテーター)

開催月	事業名	事業内容
平成24年1月	せんきよフォーラム	自分で「選ぶ」ということの大切さについて伝えるための参加型授業として、給食のデザートテーマとした模擬選挙を行いました。投票・開票とも小学生と一緒に、「選挙」というものがどういう仕組みになっているのか理解してもらいました。 場所：篠原西小学校 対象：6年生
	施設見学会	政治や選挙に関連した施設の見学を行い、推進員に政治や選挙に関する理解、知識を高めてもらいました。 場所：東京都庁・NHKスタジオパーク
2月	港北区明るい選挙推進大会及び記念講演会	推進員が一堂に会し、きれいな選挙と投票への総参加の実現を目指した推進運動を、引き続き展開していくことを確認するとともに、政治や選挙に関する記念講演会を行います。 講師：金谷 俊一郎氏 (歴史コメンテーター) 場所：港北公会堂
5月～1月	企画検討委員会	明るい選挙推進運動事業の企画内容について、推進員の代表の方々による検討会議を行います。
9月～12月	投票器材貸出し事業	中学校・高等学校の生徒会選挙の際に記載台、投票箱などの器材を貸出し、選挙の雰囲気を感じてもらいました。
年4回	港北区イコット通信	明推協の機関誌として年4回発行し、推進員への啓発を図るとともに、事業の紹介、報告等を行います。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発「ザ・イコット」	港北区内の13連合町内会の区域ごと、駅前や商店街等を拠点に、啓発物品を配布し、投票参加の呼びかけを行いました。 参加人数：約210人

緑区

▼ 区民まつりで行ったアンケート調査の様子



▲ 総合ショッピングセンターでの模擬投票の様子

緑区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の推進と投票参加意識の向上を目指して、各種啓発活動に取り組んでいます。四月の統一地方選挙では、区内四駅において、駅頭啓発活動「ザ・イコット」を実施し、投票参加を呼びかけました。

八月には、子連れの買い物客で賑わう区内の総合ショッピングセンターで新規啓発イベントを企画し、子どもに対しては映画会の上映作品の模擬投票を、大人に対しては選挙に関するアンケート調査を行いました。

十月の「緑区民まつり」では八月のイベント同様、模擬投票とアンケート調査を行い、協議会の活動を区民にPRしました。

十一月のせんきょフォーラムでは、区職員による出前授業を行いました。候補者演説のテーマを地域が抱えている課題とし、本番さながらの雰囲気で開催しました。

十二月の講演会は、政治参加の意識が広く浸透することを目的とし、対象を一般市民に拡大して開催しました。

一月に開催する「子ども映画会」では、八月と十月のイベントの模擬投票結果で上映映画を選定し、上映前に子ども向けのせんきょ体験コーナーを設置し、選挙に親しんでもらえる場を準備しています。

その他、今年は推進員の任期と人数を見直し、新たな体制を作りました。長年活動いただいた推進員の協力に感謝すると共に、今後協議会の活動がさらに活性化していくよう来年度以降も取り組んでいきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年8月	夏の啓発イベント	子連れの買い物客を中心に、啓発用風船を配りながら、模擬投票とアンケート調査を行った。 場 所：アピタ長津田店 参加者：約200名
10月	緑区民まつり	選挙の仕組み等の展示のほか、模擬投票とアンケート調査を行い、来場者に楽しく投票の体験してもらいながら、明推協のPRを行った。 場 所：四季の森公園 参加者：約500名
11月	せんきょフォーラム	若年層への啓発を目的とし、区職員による出前授業を行った。学校を一つの市に見立て、候補者演説に対して、自ら考えて投票し、開票結果が出るまでの一連の流れを、実際の選挙に近づけた形で体験してもらった。 場 所：緑が丘中学校 対象：3年生及び教職員
12月	緑区明るい選挙推進講演会	政治への知識・関心を深め、投票参加の意識を高めることを目的とし、推進委員・推進員・一般市民を対象に講演会を開催した。 場 所：緑公会堂 参加者：約230名 テーマ：「ニュースから読み解く日本の政治」 講 師：テレビ朝日コメンテーター 三反園 訓氏

開催月	事業名	事業内容
平成24年1月	子ども映画会	夏のイベントと区民まつりの投票結果で1位となった映画を上映し、上映前に選挙に親しむ企画を行う。 場 所：緑公会堂 上映作品：「それいけ!アンパンマン すくえ!コロリンと奇跡の星」
年間	投票器材等の貸出	区内の学校で行われる生徒会等選挙に対し、選挙器材及び選挙用品の貸出を行う。
年5回	明推協プロジェクト会議	推進員によるプロジェクトメンバーが主体となり、緑区明推協事業の効果的な啓発活動の方策を検討する。
年4回	イコット通信の発行	推進委員・推進員を対象に、明推協事業の計画や報告等を掲載した機関紙を発行。

啓発メモ帳(表)▶



◀ 啓発メモ帳(裏)



●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発「ザ・イコット」	推進委員及び推進員・選挙管理委員45人が参加し、乗降客で賑わう区内4駅(中山駅・鴨居駅・十日市場駅・長津田駅)で啓発物品の配布と投票参加の呼びかけを行った。

青葉区

▼ せんきょフォーラムの様子(22年度)



青葉区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目指して、将来の有権者である若年層を含めた区民への啓発活動を行っています。

7月13日に定例会議を行い、今年度の事業計画を策定し、青葉区明るい選挙推進協議会の活動がスタートしました。

11月3日に実施された区民まつりにおいては、準備段階から選挙啓発方法について、企画運営チーム会議での検討を重ねてきました。

当日は、青葉区明るい選挙推進協議会としてフランクフルトの販売ブースを設け、購入者に選挙クイズを出題したほか、投票参加に関するアンケートの実施や選挙啓発物品の配布を行いました。また、青葉区の選挙マスコット『えら坊』や、横浜市の選挙マスコット『イコットJr』の人気も後押しして、大盛況の啓発活動となりました。

若年層への啓発としては、小学校生活最後の給食デザート模擬投票によって決める『せんきょフォーラム』出前授業を、1月16日及び19日に区内の小学校にて実施しました。

また、今年度末には青葉区明るい選挙推進研修会として講演会を開催する予定となっており、明推協活動に対する推進員の意識の向上を図っていきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年 11月3日	青葉区民まつり	多くの区民が集まる青葉区民まつりに明推協ブースを出展し、選挙クイズを取り入れたフランクフルトの販売・選挙に関するアンケート・展示などを行い、選挙啓発を行う。
平成24年 1月	せんきょフォーラム	選挙啓発出前授業として、区内小学校で選挙の出前授業を実施する。
2月～3月	青葉区明るい選挙推進研修会	講演会などを通じて、明推協の活動に対する興味を高め、選挙啓発への意識を高める。
年2回	イコット通信の発行	明推協の各種事業紹介や、報告などを掲載した機関紙を発行し、自治会町内会の回覧板等により広く明推協の活動を周知する。
通年	企画運営チーム会議	推進員の有志で構成されたチームにより、明推協事業の実施に際して、効果的な実施方法等の検討を行う。
	投票器材の貸出	選挙についての理解を深め、親しみを持てるよう、区内の小・中・高校等に投票箱、記載台などを貸し出す。
	メディアへのPR	啓発事業を実施する際に、メディアへの情報提供を積極的に行い、記事に取り上げてもらうことで効果的な周知に努める。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発 「ザ・イコット」	駅構内で啓発物品(ポケットティッシュ)を配布しながら、投票日の周知、投票参加を呼びかけた。 ★実施日時、場所、参加者数 ①平成23年3月26日(土) 15:00～16:00 青葉台駅 参加者 33名 ②平成23年4月2日(土) 15:00～16:00 あざみ野駅 参加者 38名



▲ 青葉区民まつりの様子

▼ 地区運動会での啓発



▲ 明るい選挙推進大会兼委嘱式

また、機関紙「明推協だより」を発行して自治会・町内会に回覧を依頼したほか、区の明推協ホームページを随時更新して活動をPRしました。

今後、選挙に関する講演会の開催など、積極的に啓発活動をしていきます。



▲ 夏祭りでの一コマ

都筑区明るい選挙推進協議会では明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目的として様々な啓発活動を行っています。

6月に明るい選挙推進大会兼委嘱式を開催し、平成23・24年度の推進員351名を代表して地区協議会代表委員に会長から委嘱状の交付・「明推協の役割」についての学習・大会決議文の採択等を行って積極的に啓発活動していくことを確認しました。

11月の都筑区民まつりでは明推協ブースを出店して、選挙パネルクイズ・イコット着ぐるみとのじゃんけんゲーム・インスタントカメラでの記念撮影等を行い、子ども連れの家族を中心に啓発を行いました。

常時啓発事業としては15の地区協議会毎に夏祭りや運動会等のイベントでのぼり旗の掲示・啓発ティッシュ配布・イコット着ぐるみを用いての活動を行っています。

未来の有権者育成事業では主に都筑区内の中学校の生徒会選挙にて投票箱・記載台・たすき・腕章等の貸出を行い生徒たちに実際の選挙に近い体験をしていただきました。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年 5月	明るい選挙推進協議会会議	役員の選任・前年度の事業報告・今年度の事業計画等を議決。
6月	明るい選挙推進大会兼委嘱式	会長から今期の推進員に委嘱状の交付・統計選挙係長から「明推協の役割」についての講演・大会決議文の採択等を行い、積極的に啓発活動していくことを確認。 ・参加者約130名
11月	投票にイコット(都筑区民まつり参加啓発)	都筑区民まつりで明推協ブースを出店。選挙に関するパネルクイズを行い・啓発ティッシュ配布・イコット着ぐるみとじゃんけんゲームを実施 ・参加人員：委員、推進員、計16名 ・パネルクイズ参加者：約550人 ・イコットじゃんけん参加者：約500人
平成24年 2月(予定)	都筑区せんきょフォーラム	若年層をはじめ市民に選挙・政治への関心を高めそれらへの判断能力を養う学習機会の場の提供を目的として実施予定 ・タイトル「選挙に行かないとこんなに損する!？」～若い世代にも聞いてほしい選挙のハナシ～ ・講師：森川 友義氏(早稲田大学教授) ・開催日時：平成24年2月4日(土)
通年	地区協議会活動	15の地区協議会毎に夏祭りや運動会等のイベントでのぼり旗の掲示・啓発ティッシュ配布・イコット着ぐるみを用いて活動のPRを実施。

開催月	事業名	事業内容
通年	未来の有権者育成事業	選挙についての理解を深めるために、主に都筑区内の中学校の生徒会選挙にて投票箱・記載台・たすき・腕章等の貸出 ・実施校 中学校延6校
	明推協PR事業	都筑区連合町内会・自治会に機関紙「明推協だより」の班回覧を依頼して、より多くの人に明推協の活動をアピール。 発行部数：約4600部 都筑区明推協ホームページも随時更新して、PRを実施。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発	センター南駅前にて啓発ティッシュを1000個配布・のぼり旗の掲出・イコット着ぐるみ等を用いて投票参加を呼びかけました。 ・参加人員：13名
	期日前投票所運営	都筑区役所・ららぽーと横浜2箇所の期日前投票所にて立会人として明推協から延48人を推薦し、選挙の適正執行に協力しました。

戸塚区

▼ 大学生と推進員の熱い意見交換会



今後、推進委員、推進員が力を合わせて、啓発効果の高まる内容を検討し、自主的な啓発活動を実施していきます。

選挙時啓発活動としては、4月に行われた統一地方選挙の際に、戸塚駅、東戸塚駅の駅頭や商業施設において街頭啓発「ザ・イコット」を実施しました。

また、12月10日には、明治学院大学の中谷美穂先生と大学生による講演・研究発表と、大学生と推進員の意見交換会という二部構成の選挙啓発講演会を開催し、若者の政治意識やライフスタイルの本音に迫り、有効な啓発手法をともに考えてみました。

2月4日には、子育てや共働き世代のヤングミセスを対象に親子で楽しめる映画会を開催します。映画の上映にあわせて、啓発グッズの配布やイコットちゃんとの撮影会のほか、「せんきよ川柳コンテスト」を実施し、会場内で応募作品を紹介し、幕間に優秀作品の表彰を行う予定です。



▲ 大人も子どもも選挙クイズに挑戦！

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
通年	明るい選挙ライブラリー事業	選挙啓発に関する教育器材をそろえたライブラリーを整備し、推進員の出身団体において身近な生活の話題から政治や選挙について意見交換を行う活動に対し、ビデオや冊子等の教育器材を貸し出す。
	『未来の有権者』育成事業	区内中学校を対象に、生徒会選挙等により実際に近い選挙を体験してもらうため、投票箱や記載台等、器材の貸出しを行う。
平成23年11月	戸塚ふれあい区民まつり	来場者に対して、啓発グッズを配布し、明推協活動の紹介と選挙クイズ、イコットちゃんとの記念撮影を行った。 ☆日時：11月3日 ☆場所：東戸塚小学校
12月	選挙啓発講演会	明推協運動の意義及び意識の高揚を図るため、推進委員及び推進員の出身団体を対象に、講演会・研究発表および大学生との意見交換会を実施した。 ☆日時：12月10日 ☆場所：戸塚区 地域会議室 ☆講師：中谷 美穂 (明治学院大学法学部 准教授)
平成24年2月	とつかイコット映画会事業	来場者に対して、啓発グッズを配布し、明推協活動の紹介とイコットちゃんとの記念撮影、「せんきよ川柳」コンテストを実施する。 ☆日時：2月4日 ☆場所：戸塚公会堂 ☆作品：『塔の上のラプンツェル』

開催月	事業名	事業内容
3月	せんきよフォーラム事業	政治や選挙の大切さを体験し、考えてもらうため、舞岡中学校の3年生を対象に、笑学塾による選挙コントと模擬投票を実施する。 ☆日時：3月1日 ☆場所：舞岡中学校
5月、9月、12月、3月	明推協通信	推進委員・推進員を対象に明推協の機関誌を発行。年4回。

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発「ザ・イコット」	区民が集まる戸塚駅前および東戸塚駅前で、啓発ティッシュを配布し、積極的な投票参加を呼びかけた。 ☆実施日・場所・参加者数 ①3月28日・戸塚駅・12名 ②3月30日・東戸塚駅・9名
	公用車での啓発	業務で使用する公用車に啓発ステッカーを貼るとともに、広報テープを流し、選挙期日の周知と投票参加を呼びかけた。 ☆期間：3月18日～4月10日



東戸塚駅前で街頭啓発 ▶

栄区

栄区明るい選挙推進協議会では、きれいな選挙の実現と、区民の政治意識の高揚、投票総参加を目指して、様々な事業を実施しています。

常時啓発活動として、7月6日に「明るい選挙推進大会」を開催しました。第一部では、栄区明るい選挙推進協議会の平成23年度事業計画の説明等を行い、第二部では、神奈川新聞社経済部長(前報道部長)長兼国会キヤップ「有吉敏氏」に「東日本大震災の復興支援における政治のあり方」と題して記念講演をしていただきました。記者として見た国会の現状や統一地方選の結果等を分かりやすくお話ししていただきました。推進委員及び推進員の意識の高揚を図ることができ、有意義な大会となりました。

また、4月の統一地方選挙では、選管委員、推進委員、推進員が一丸となって、街頭啓発「ザ・イコット」を実施し、区民に投票参加を呼びかけました。その結果、高い投票率に貢献することができました。

さらに、11月には栄区民まつりに参加し、似顔絵コーナー等を開設しました。

また、1月18日には施設見学会を兼ねた研修会を実施しました。政治と選挙について学習したとともに、推進員相互の連携を強めました。

このほか、将来の有権者である中学生を対象とした「せんきよフォーラム」を2月に実施する予定です。

事業計画、事業報告については、いずれも「イコット通信」(年3回発行)で推進員へ情報提供を行い、参加意識の高揚を図っています。



▼ 栄区民まつり似顔絵コーナー

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年 7月6日	明るい選挙 推進大会	平成23年度事業計画の説明及び講演会。講演テーマ『東日本大震災の復興支援における政治のあり方』 講師：有吉 敏 氏 参加者：88人
7月20日	選挙独自啓発事業	今年度は、夏の暑さや節電対策の一環として、「市民の身近なエコ活動と呼びかける“Yokohamaエコ活”」(以下エコ活)と連携し、水にぬらして首に巻くと涼しい栄区オリジナル「ヒヤットとスカーフ」を製作し、親子が集まるイベント「はたらくクルマ大集合」等で配布した。
11月5日	栄区民まつり 明るい選挙 啓発事業	栄区民まつりに栄区明推協として参加し、来場者に似顔絵を描いてプレゼントすると同時に、啓発物品の配布やクイズを行い、区民の政治意識の高揚、棄権防止やきれいな選挙、明るい選挙の実現など選挙啓発活動を実施した。
平成24年 1月18日	推進委員・ 推進員研修事業	施設見学会を兼ねた研修会を実施し、推進委員・推進員の意識の高揚と明るい選挙推進運動の前進を図った。
2月(予定)	せんきよ フォーラム事業	将来の有権者である中学生を対象に講演会を実施し、政治や選挙に関心を持ってもらうことにより将来の有権者としての意識を高めてもらうきっかけとします。

開催月	事業名	事業内容
3月17日 (予定)	SAKAEヤング フェスティバル 明るい選挙 啓発事業	将来の有権者である区内の青少年対象のイベントに栄区明推協として参加し、政治や選挙に関心を持ってもらうことにより将来の有権者としての意識を高めてもらうきっかけとします。
年間	投票器材の貸出	区内の学校の生徒会役員等の選挙に際し、投票器材の貸出を行う。
年3回	イコット通信の 発行	推進委員・推進員の連携を図るための機関紙を発行。年3回

明るい選挙▶
推進大会 第2部



●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発 「ザ・イコット」	1：実施日 4月2日 2：場 所 本郷台駅前広場 3：実施内容 ブラカード、広報テープ、啓発物品等を使用して投票参加を呼びかけた。 4：参加者 45人

▼「泉区民ふれあいまつり」啓発風景



泉区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上をめざして、将来の有権者である若年層に向けた啓発を含め、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。

4月に執行された統一地方選挙では、泉区明るい選挙推進員に街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもらい、投票の呼びかけや啓発物品の配布など、選挙啓発を行いました。

将来の有権者に向けた啓発事業として、今年で21年目を迎える中学3年生を対象にした民主主義と選挙のクイズ「あと5年」の配布や、生徒会選挙等への投票器材等の貸出し事業を行いました。

また、小学6年生を対象に「デザートせんきょ」を実施しました。これは、小学校最後の給食につくデザートを何にするかを題材に、選挙のレクチャーと模擬投票の体験学習を併せた出前授業です。自分たちが投票し、選ばれた、デザートが実際に給食に出てくることから、毎年、大変好評となっています。

常時啓発としては、3月に「わいわいファミリーコンサート」音楽のおくりもの」を開催し、投票率の低下がみられる若年層へ投票を呼びかけるほか、区内で行われるイベント等での啓発物品の配布など、現在の有権者に向けた啓発活動も実施していきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成24年1月	民主主義と選挙のクイズ「あと5年」	中学校3年生を対象に、社会科副教材「あと5年」を基にしたクイズを出題し、解答する過程を通じて、民主主義と選挙の基礎知識の普及を図る。通算21回目。
1月～2月	せんきょフォーラム	区内小学校を訪問し、6年生を対象に選挙のレクチャーと模擬投票の体験学習を併せた出前授業「デザートせんきょ」を行う。(12校で実施予定。)
3月	わいわいファミリーコンサート ～音楽のおくりもの～	推進員をはじめ、投票率の低下がみられる若年層が参加しやすいように、コンサートを開催し、投票への参加を呼びかける。
年3回	明推協だより	推進委員、推進員向けに事業計画や報告等を掲載した機関紙を発行する。
年間	投票器材の貸出	区内の学校で行われる生徒会選挙等に際して、投票器材を貸し出す。また要望がある場合は職員が出向いて、選挙の進め方を説明する。

●選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発「ザ・イコット」	立場駅、いずみ野駅の計2箇所を実施。延べ22名が参加しました。



▲「デザートせんきょ」開票風景

▼ こども映画会



瀬谷区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と区民の投票参加の促進を目指して各種啓発活動を行っています。

常時啓発活動では、若年層向け啓発事業として、区内小中学校等を対象に生徒会選挙のために投票器材の貸出しを実施しています。

8月には「明るい選挙こども映画会」を開催し、上映後、映画に登場した好きなキャラクターに投票する模擬投票を行い、親子で選挙への関心を高める機会としました。2月には、区内中学校において「せんきよフォーラム」を開催し、経験豊富な講師の講演を聞くことにより、中学生に選挙を意識する機会としてもらいます。

また、10月の「瀬谷フェスティバル」において、明るい選挙推進協議会のブースを出店し、選挙パネルの展示、選挙クイズの実施など、広く区民へ明るくきれいな選挙の推進及び投票参加についての啓発を行ないました。12月には、「推進員研修会」を開催し、政治・選挙関連施設の見学と意見交換を行い、推進員の交流を図りました。今後は、一般区民を対象とした「選挙啓発講演会」の開催とともに、「明るい選挙推進大会」により推進委員・推進員のさらなる意識高揚を図り、より一層の明るくきれいな選挙の推進に取り組んでいきます。

選挙時啓発活動では、4月の統一地方選挙の際に、三ツ境駅、瀬谷駅、商店街等を中心に街頭啓発「ザ・イコット」を実施し、啓発物品を配布しながら投票参加を呼びかけました。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成23年 8月	明るい選挙 こども映画会の 開催	区内の幼児、児童とその保護者を対象に開催し、映画上映後に本物の投票箱を用いた模擬投票を実施した。 上映：ディズニー映画 「トイ・ストーリー3」 会場：瀬谷公会堂 参加者数：331人
10月	瀬谷フェスティバル への参加	「瀬谷フェスティバル」に明推協ブースを出店し、啓発活動を実施した。 会場：上瀬谷通信施設はらっぱ
12月	推進員を対象と した研修会の実施	政治・選挙関連施設の見学と意見交換を行う研修会を実施し、選挙に関する理解を深め、推進員の交流を図った。
平成24年 2月予定	せんきよ フォーラムの開催	中学生を対象に政治・選挙への関心を高めるための講演会を開催する。
3月予定	明るい選挙推進 大会及び選挙啓発 講演会の開催	明るくきれいな選挙の推進について推進委員・推進員の意識を高めるとともに、講演会を実施して区民の政治・選挙への理解を深める。
通年	投票器材の貸出し	選挙への理解を深めるため、区内小中学校等に投票箱や記載台等の貸出しを行っている。
	イコット通信の 発行	推進委員・推進員の機関紙を発行している。 発行回数：年3回

● 選挙時啓発事業

選挙名	事業名	事業内容
統一地方選	街頭啓発 「ザ・イコット」の 実施	駅頭、商店街ほか各地区で、啓発物品を配布し、投票参加の呼びかけを行った。 活動場所：三ツ境駅、瀬谷駅、 区内全域 活動回数：14回 参加人数：298人
	電子掲示板による 広報	区役所の電子掲示板で投票日を広報。



▲ 瀬谷フェスティバル

横浜市 今年度の事業から

●横浜市明るい選挙推進協議会事業

事業名	内容	備考
研修事業	区明推協委員・推進員を対象とした明るい選挙推進研修会の開催を通じて、推進員の意識高揚を図りました。	リーダー研修会 日時：11月7日(月) 会場：ウィリング横浜
未来の有権者への意識啓発事業	未来の有権者の意識啓発を図るため、小学校、中学校、高校の生徒会役員選挙や出前授業の支援、また、若者啓発グループ等の若年層啓発事業を支援します。	1 生徒会選挙、出前授業等支援物品の作成 2 若年層啓発活動支援
(財)明るい選挙推進協会連携事業及び市・区明推協連携事業	(財)明るい選挙推進協会が主催する事業に参加。また、区明推協の常時啓発でその内容において共催することが望ましい事業を共同で実施し、市民に明るい選挙の推進を訴えます。	1 (財)明るい選挙推進協議会連携事業 (1)各種ブロック研修 2 市・区明推協連携事業 (1)区明推協活動助成等
白バラよこはま(No.42)発行	市及び区で実施する各種啓発事業紹介、寄附禁止等を掲載した機関誌を作成し、市・区明るい選挙推進大会等で関係者に配布します。	3,000部

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発事業

事業名	内容	備考
若年層啓発事業	若年層の利用が多い情報ツールを効果的に活用し、選挙や政治の大切さ等をテーマとした情報を工夫しながら発信していきます。 また、将来の有権者である高校生等に向けた啓発として、市教育委員会や学校と連携しながら、新たな啓発手法を検討します。	実施：通年
新有権者ダイレクトメール(はたちブック)	新有権者にとって必要な選挙の知識などを掲載し、また、若者の生活様式と感覚に即した情報を盛り込んだ冊子を作成し、新有権者全員にダイレクトメールで送付しました。	発送対象者： 新成人約33,000人 発送時期：12月上旬
成人の日を祝うつどい	「成人の日を祝うつどい」会場内のASTROビジョンでの呼びかけや会場内で横断幕を掲出するなどして、新有権者に選挙の重要性や投票総参加を訴えました。	実施：1月9日(月・祝) 会場：横浜アリーナ 対象：約30,000人
生徒への啓発教材配布	市内中学校の3年生全員に、政治や選挙の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと5年」を配布しました。	実施：4月 中学校に配送 約30,000人
選挙制度等の広報	「投票参加状況調査」結果も活用しながら、指定施設での不在者投票や在宅投票などの投票制度について、対象者に積極的な広報を進めていきます。	実施：通年
せんきょフォーラムの実施	身近な問題について考え、話し合うことで、選挙・政治への関心を高めるきっかけ作りとなる学習講座(フォーラム事業)を各区で実施します。	実施：通年 会場：各区(学校等)
選挙書道コンクール	きれいな選挙や投票参加を呼びかける標語等を題材とした書道作品の募集及び展示を通して、将来の有権者である青少年を中心に啓発しました。	募集：7月～9月 展示：12月下旬
啓発パネル掲出	きれいな選挙と投票参加を呼びかけるパネルを地下鉄各駅に掲出しています。	地下鉄改札口付近 30駅34枚(通年)
明るい選挙推進大会開催の後援	市・区明推協関係者が一堂に会し、日頃の活動の体験交流や研修を実施し、きれいな選挙と投票参加の推進を確認する推進大会の開催を支援します。	日時：1月25日(水) 開場：横浜文化体育館
明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施するイベント等の各種事業及び明るい選挙推進協議会組織強化のための活動に対して補助を行います。	



▲「横浜はたちブック」2012



▲「選挙書道コンクール 金賞受賞作品」(平成23年度)

昨年4月、第17回統一地方選挙が行われました。

告示期間中、市内公共機関・駅前・大学等にポスターや看板・横断幕などを掲出し、街頭啓発「ザ・イコット」等で、積極的な投票参加ときれいな選挙を呼びかけました。また、横浜市選挙啓発団体「イコットプロジェクト」による企画・提案により、CM制作等も行いました。

全市の統一デザインは、横浜美術大学に制作を依頼し、港をイメージした青色をベースにインパクトのある色味で「投票」参加を促すデザインとしました。

今回の統一地方選挙は、横浜市議会議員一般選挙が46.73%、神奈川県議会議員一般選挙が45.69%、神奈川県知事選挙が46.75%の投票率でした。



桜木町駅懸垂幕



市庁舎横断幕



バスフロント幕

大切な1票! 投票しよう! 選挙の大切さを伝える、選挙啓発活動

【投票時間】
4.10(日) 朝7時~夜8時まで

統一地方選挙

横浜市会・県会・知事

実施項目		数量	内容
看板・幕・ポスター類	看板・横断幕・懸垂幕	約400枚	市内の主要駅、市庁舎、区庁舎、商店街、歩道橋、大学等に看板・横断幕を設置
	駅、街頭フラッグ	20枚	桜木町駅、市庁舎周辺にフラッグを掲出
	ポスターの掲出	約27,000枚	自治会・町内会掲示板、交通広告(駅貼りポスター等)、郵便局、公共機関等に掲出(デザインは大学の考案により連携して作成)
	駅柱巻き(ピラー)広告	10枚	横浜駅(JR、相鉄線)に駅柱巻き広告を掲出
	啓発三角柱	17枚	各区庁舎の啓発三角柱に啓発シールを掲出
	公営ポスター掲示場を利用した啓発	4,713箇所	選挙運動用ポスター掲示場を利用し、投票日、投票時間の案内を表示
移動型広告	借上広報車	延べ36台	四面看板を搭載した宣伝車によって巡回啓発を実施
	バスフロント幕	約900枚	バスのフロントに啓発幕を掲出 市営:約900台 民営:約1,000台(県選管で実施)
	車体側面シール	約2,700枚	ゴミ収集車等、公用車の両側面に啓発ステッカーシールを掲出
	ゴミ収集車	約900台	巡回中に、投票日・期日前投票制度周知の啓発文を放送
	公用車	約100台	18区の公用車等を活用して投票日、期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを広報
印刷物各世帯等	港務艇	4隻	港湾局所有の船舶(4隻)で洋上や河川上から投票参加の呼びかけを放送
	広報よこはま市・区版	約150万部	各世帯に配布 1月号:選挙期日、立候補予定者説明会日程等 2月号:郵便投票制度 3月号:期日前投票制度
	「投票のご案内」同封用啓発チラシ	約170万部	各世帯に発送
	啓発回覧チラシ	約10万部	選挙情報や寄附禁止を呼びかける啓発チラシを各世帯に回覧
	選挙公報	約170万部	ページの余白に投票日、投票時間を掲載。全世帯に配布
新聞・放送等	点字版、音声版「選挙のお知らせ」	ボランティア団体等の会員	選挙公報を点訳、録音した「選挙のお知らせ」のボランティア団体等による作成、配布(区役所、図書館等へ設置)
	新聞広告	各1回	新聞7紙に広告を掲載(神奈川、朝日、読売、毎日、産経、日経、東京)
	地域情報紙「ばど」	2回	地域情報紙に啓発広告を掲載
	市広報番組	各2回	「ずばり!横濱」(テレビ神奈川) 「ヨコハマ・オンリーワン」(ラジオ日本) 「ヨコハマ・アラウンド」(FMヨコハマ)
	テレビCM広告	随時	tvk及びCATV及び選管ホームページで15秒CMを放送
	ラジオCM広告	随時	民放2局(FMよこはま、ラジオ日本)で20秒のラジオCMを放送
	市区庁舎、スーパー、百貨店等での啓発放送	随時	市・区庁舎、店舗内などで投票参加の呼びかけを放送
	市営地下鉄車内・構内放送	随時	市営地下鉄の車内及び構内において投票参加の呼びかけを放送
	電光掲示板	随時	市営地下鉄・バス電光案内板、区戸籍課窓口等の電光掲示板
	文字放送	随時	TVKデータ放送で広報実施
大学の啓発	大学の構内、フェンス等に幕、看板を掲出	市内大学	投票参加を呼びかける幕、看板を掲出
	大学のホームページへのPRバナー掲載		大学が管理するホームページに啓発広告を掲載
インターネット・モバイル	選挙案内ページの作成	随時	選挙情報(投票日、候補者、投票所、期日前・不在者投票方法、投開票速報等)、計画停電の情報を掲載
	モバイル対応選挙案内ページの作成	随時	選挙情報(投票日、候補者、期日前・不在者投票方法、投開票速報等)、計画停電の情報を掲載
	インターネットを活用した広告掲載	随時	インターネットの検索サイトにバナー広告を掲載
行事	街頭啓発「ザ・イコット」	18区	各区地域などを単位として数人のグループを編成し、区内の主要繁華街、駅頭などでの街頭啓発や、それぞれの場所を起点として場所を移動しながら投票参加を呼びかける。(若者啓発グループ:イコットプロジェクトも参加)
	啓発キャンペーン	2箇所	投票参加を集中的に呼びかけるキャンペーンを市内中心部と低投票率地区で実施
啓発物品・資材	ポケットティッシュ	約200,000個	各区街頭啓発等での投票参加の呼びかけに活用
	ブラカード・のぼり旗	約200本	
	既製の活用 卓上マスコット	約1,600個	
	イコットぬいぐるみ(着ぐるみ)	19体	
	イコットパンチング人形	37体	市及び各区に2体

横浜市 明るい選挙推進リーダー研修会 開催



平成二十三年十一月七日（月）、横浜市福祉保健交流センターウイニング横浜（港南区上大岡）を会場に、「横浜市明るい選挙リーダー研修会」が行われました。

参加者は、各区の明推協推進委員・推進員二十七名。主催者である横浜市明るい選挙推進協議会会長の浅井正美会長の挨拶に続き、「変わる有権者と明推協活動について」というタイトルで、埼玉大学経済学部教授、さいたま市明るい選挙推進協議会会長 松本正生氏による基調講演が行われました。

講演では、過去に行った支持政党等に関する世論調査結果をもとに、投票行動や支持形態の変化とそれに伴う啓発活動の課題について、分かりやすく説明いただきました。

その後、参加者は各区選管書記も加わり六十三名がグループに分かれ、昼食を挟んで約三時間、討議を行いました。

討議には、「時代に即した明推協活動と推進員の役割、効果的な啓発活動とは？」を共通テーマとして、

（１）時代に即した効果的な明推協活動と推進員の役割とは？（何を活動すべきか、区や地域での具体的な活動内容や街頭啓発の実施方法等について）

（２）若年層が明推協組織へ参加する方策とは？について話し合い、次のような意見が出ました。

- ・時代に即した効果的な明推協活動と推進員の役割とは？（何を活動すべきか、区や地域での具体的な活動内容や街頭啓発の実施方法等について）
- ・インターネット上でのブログやツイッター、広告等を使用した啓発活動を行う。
- ・イベントなど人が多く集まる場所で街頭啓発を行い、効率を上げる。
- ・教育機関と協力し、学校において選挙に関する講義、イベントを実施する。

・推進員は地域の選挙リーダーとして、投票を近所の人に呼び掛け、投票日や投票所の場所など必要な情報を伝えていく。

・明推協活動や推進員としての役割・目的が不明確。明確な目的を示すことで、推進員にも「自覚」が生まれ、啓発活動等に積極的な姿勢で取り組むようになるのではないかと。

・子供と親への啓発活動が大切。明推協が子供に対してデザート選挙など選挙に親しんでもらう啓発活動を行い、それを子供が親に伝え、結果として親も政治に関心を持ってもらうようにする、という間接的な啓発活動が効果的。

・高校生に対しての講演会の開催。（選挙権まであと二年なので。）

・地域とのつながりを強化することで投票率を高くする。

・投票所に子供を連れて行き、小さいころから選挙の大切さを身と感じさせる。

・市・区で選挙コラムなどを載せたチラシを作成し、配布することや、お年寄りや独り暮らし世帯への情報提供を行う。

・駅やスーパー等身近なところから啓発活動を行うとよい。

・中学の道德の時間に話したり、教師自身にも選挙についての知識を増やしてもらったりすることで、若者の選挙に対する知識を増やしていくことが必要。

・地域でのコンパクトな話し合いを続け、推進員自身も育てることが大切。

・推進員自身の意識付け、意識の向上が必要。

・せんきよフォーラムをはじめ、学校での教育も必要。

・親から子への啓発活動は効果的。

・会社の寮などで暮らす、その土地にゆかりのない単身者への働きかけも重要。

・若年層のいる家庭にピンポイントで働きかける。

・青少年推進員や消費生活推進員など、地域で既に活発に活動している団体と協働する。

（２）若年層が明推協組織へ参加する方策とは？

・自治会等推進員の出身母団体で、明推協への若年層の参加を呼び掛ける。

・地域の学校と連携して、選挙イベントで学生ボランティアを募集したり、学校の先生から生徒に呼び掛けたりしてもらう。

・学生の意見を聞き、考えさせることに重点を置いた講演会等は継続して実施していきたい。

・選挙フォーラムや出前授業など従来から行っているものについても、やり続けることが大事。

・まずは「明るい選挙推進協議会」というものをメディアに取り上げてもらう等の市民に周知し、その後若年層への啓発活動に力を入れ興味・関心を持ってもらう。

・明推協に入るメリットを作れば、若者も参加するのではないかと。

・はたちブックに明推協への参加を促すチラシを入れるなど、成人になった若者にアプローチする。

・推進員への推薦のやり方を変える必要がある。

・活動する内容を絞ってはどうか。

・選挙時に「投票立会人」「投票所等でのアルバイト」に募集してみたらよい。

■その他

・投票日に送迎バスがあると良い。（バスによる投票所巡回）

・山の上の小学校など投票に行きづらい不便な投票所が多い。

・期日前投票の利用者が増加しているため、投票所数を増やしたり、駅前など行きやすい場所に設置したりすべき。

・統一地方選のように告示日の違いで選挙によって期日前投票ができる時期にずれがあるのはやりづらい。選挙制度そのものを時代に合ったものへと見直ししていく時期なのでは。

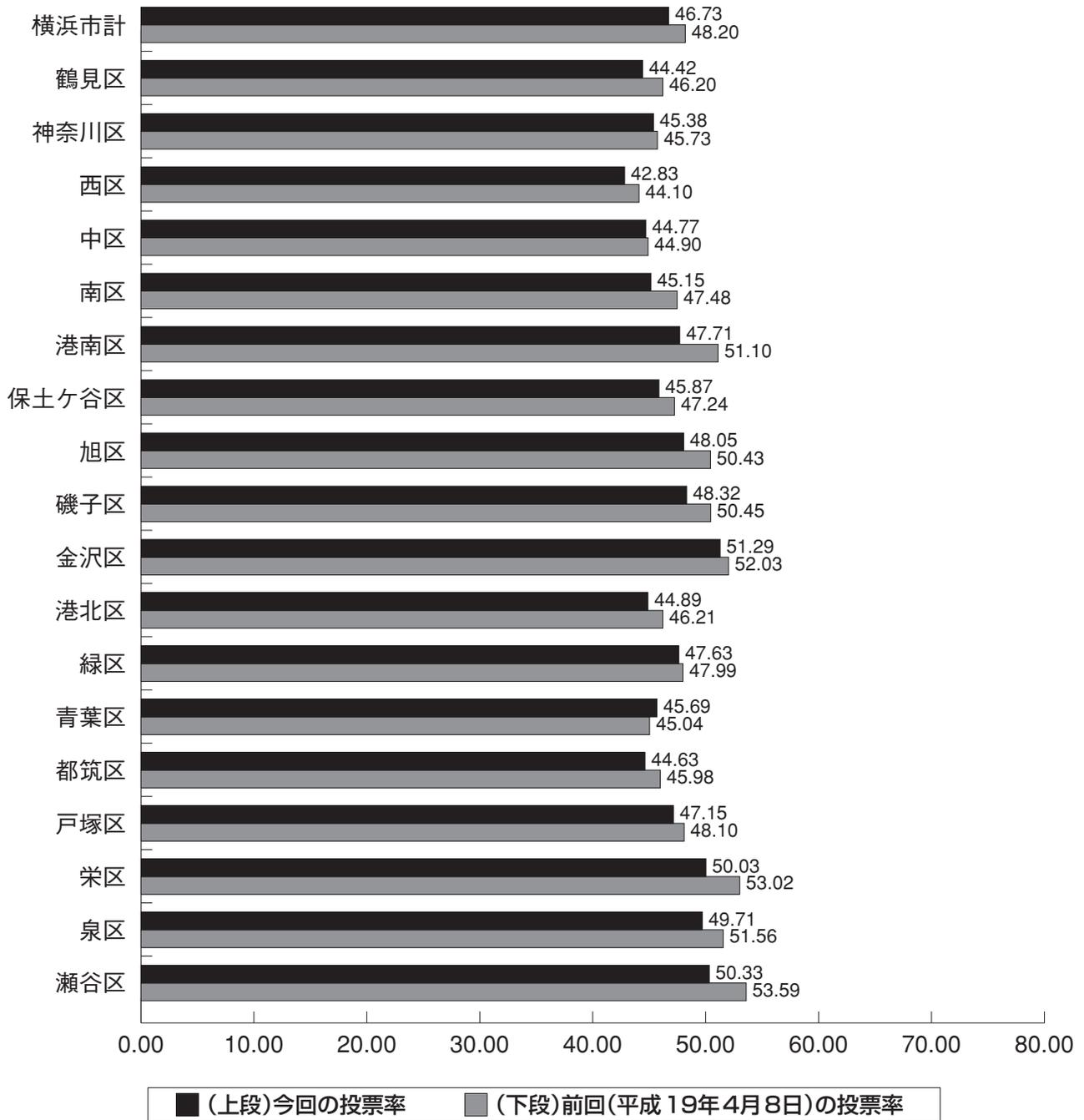
・選管と明推協の交流も大切。

・グループ討議の後、各グループ代表者から話し合われた内容について発表していただき、その後「イコトちゃん修了証」が授与されました。

平成23年4月10日執行

第17回統一地方選挙 横浜市議会議員一般選挙

<行政区別投票率(%)>



《投票率上位3区》

- ①金沢区(51.29%) ②瀬谷区(50.33%) ③栄区(50.03%)

平成23年12月18日執行

市議会議員(磯子区)補欠選挙

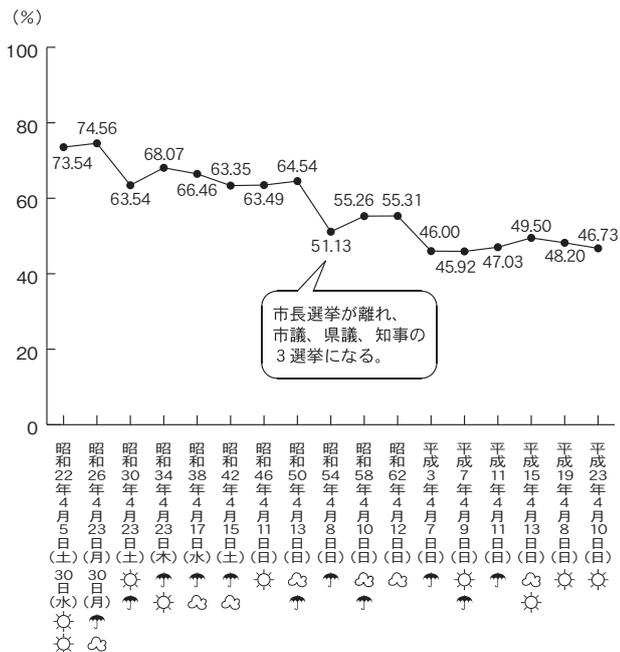
投票率
20.21%

各選挙における投票率

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
最近低下しつづけていた投票率が、上向きに転じているものもありますが、
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も明るい選挙の活動を推進していきましょう。

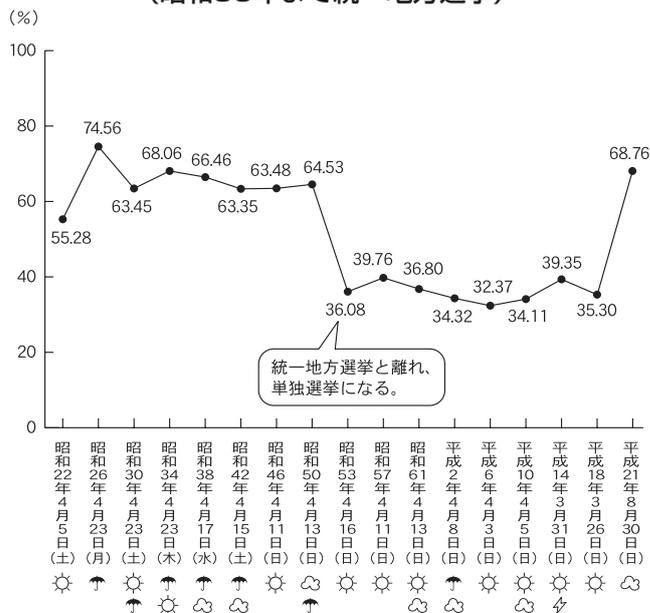
統一地方選挙

(数値は市議会選挙のもの)



市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)



注) 第一回統一地方選挙

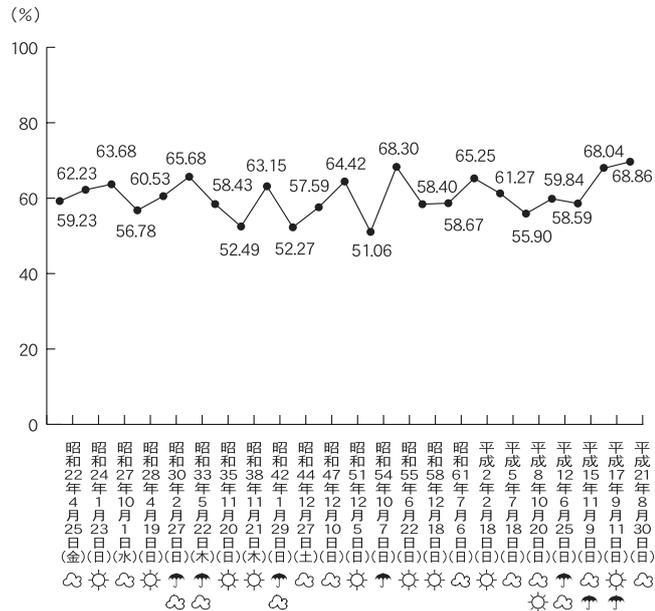
昭和22年4月5日 市長・県知事選挙
4月30日 市議会・県議会選挙

第二回統一地方選挙

昭和26年4月23日 市議会・市長選挙
4月30日 県議会・県知事選挙

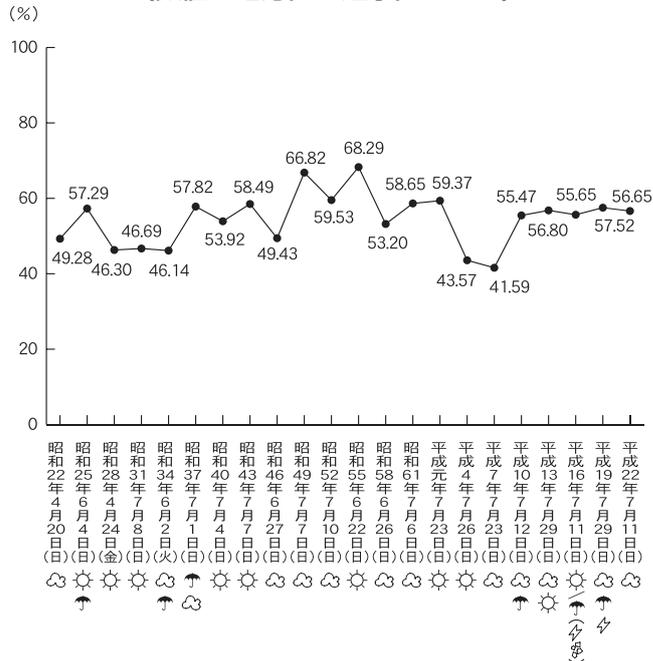
衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)

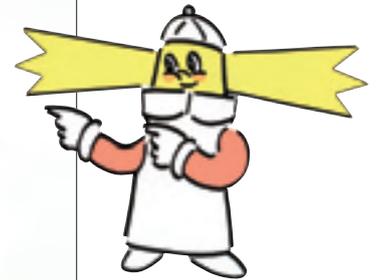


横浜市選挙管理委員会では、
若い人に選挙への関心を高めてもらうため、

中・高校生向けの

「U-20(<http://www.city.yokohama.lg.jp/senkyo/u20/>)」など
ホームページ上

<http://www.city.yokohama.lg.jp/senkyo/> で
様々な啓発しています。



また、楽しく選挙に
関心をもってもらえるよう、

携帯ホームページ

(<http://m.city.yokohama.lg.jp/sk/>)では
市議会議員立候補ゲーム
「市議会へGO!」を開設し、
楽しみながら選挙を
学べるようにしています。

